



Shunpei Sakaki

賢木 俊平

新屋 (秋田) 2年

投手 / 183cm87kg / 右投右打

県外の名門校から誘いもあったが、2つ上の兄と同じ新屋に進学。入学時130キロだったストレートは、現在では143キロを計測する。球速表示以上に速く感じるので、打者も差し込まれる。課題である決め球の精度を磨くと、三振が増えるだろう。打者としても中軸を担う。昨夏には、中越えの三塁打を放ち、パワーも備える。

観戦ポイント3箇条

- 長所 ベース盤でのストレートの強さ
- 課題 決め球の精度
- 夏の期待 投打での活躍



Fumiya Akama

赤間 史弥

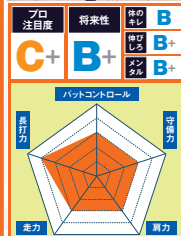
花巻東 (岩手) 3年

左翼手 / 180cm98kg / 左投右打

1年春に右打席からライトスタンドに突き刺さる本塁打を放った後、公式戦初打席ではバックスクリン弾のデビューを飾った。2年秋、3年春には1試合2本塁打など、40以上の本塁打を積み上げている。豪打もさることながら、木製バットを巧みに扱った安打も放つ。左腕投手としてマウンドに上げれば、ストレートは140キロ以上。

観戦ポイント3箇条

- 長所 木製バットでのサク越え
- 課題 正確に仕留める精度を上げた
- 夏の期待 大舞台でインパクトある打撃を



Soshiro Takeda

武田 宗志郎

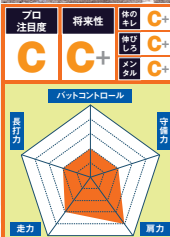
東海大山形 (山形) 3年

中堅手 / 181cm84kg / 右投右打

闘志を全開にしてフィールドを奔放に駆け回る身体能力抜群の外野手。下級生時はブンブン振り回すだけだった打撃が、今春は状況次第で逆方向への軽打も見せるなど成長中。強肩が光る守備もまともってきた。仲間の好プレーを全力で称える姿にはムードメーカーとして天賦の姿を感じる。あとは圧巻の長打を放ってほしい。

観戦ポイント3箇条

- 長所 見るからに高そうな身体能力
- 課題 狙うべきボールをしっかり選択する
- 夏の期待 何でもいける度肝を抜くプレー



Hiroto Kodama

児玉 寛大

日大山形 (山形) 3年

投手 / 181cm78kg / 右投右打

1年春から活躍していた速球派右腕。2年時は足踏みも感じたが、今春は最速を146キロまで上げてきた。気になるのはボールの質に対して投球全体の印象が圧倒的ではないこと。キレ、制球ともにバラツキがある変化球、追い込んでからの詰めの甘さなどが理由と思われる。夏は各球種の精度を上げて、試合を制圧する姿が見たい。

観戦ポイント3箇条

- 長所 球速も威力もあるストレート
- 課題 変化球のキレと制球を磨きたい
- 夏の期待 上位校相手に圧倒的なビッティング



Shoa Shindo

進藤 翔愛

東北 (宮城) 3年

中堅手 / 175cm74kg / 右投右打

打球への反応がよく、守備範囲が広い。センバツで見せたダイビングキャッチの印象を持った人が多いだろうが、あのプレーに代表されるように思い切ったアクションでチームを救う。投手経験もあり、スローイングの精度も高い。足も速く、走塁動も優れる。打撃のタイプは中距離。広角に安打を出すことができ、足を生かした長打もある。

観戦ポイント3箇条

- 長所 度胸満点の外野の守備力
- 課題 春にやや崩れた打撃の復調
- 夏の期待 走攻守でギラギラ輝け!



Matoi Tayama

田山 纏

仙台育英 (宮城) 3年

右翼手 / 177cm85kg / 右投左打

150キロを誇るスイングスピードを打席で貫き、それでいてとらえる力も備えているのが魅力。1、2番に入っていた昨年は夏の宮城大会で2本塁打。秋の県大会、東北大会でもアーチを描いた。4番に座る今春も県大会で本塁打を放っており、県トップのスラッガーとして期待がかかる。肩も強く、スピードガンでは140キロ以上を計測。

観戦ポイント3箇条

- 長所 空気を裂き切るフルスイング
- 課題 打ち気はやはり力が入りすぎる
- 夏の期待 県で4大会連続アーチを

